

社団法人 町田法人会報

社団法人 町田法人会

東京都町田市原町田3-4-4

町商会館内

TEL 0427(26)2453

発行日 昭和56年7月31日

第3号 (通刊31号)

昭和56年
盛夏号



— 目 次 —

- P. 2 第1回通常総会
- P. 2 前分、写真(会場風景)
- P. 3 会長挨拶
- P. 4 来賓祝辞
 - ①税務署長 ②町田市長
 - ③商工会長 ④税理士会長
- P. 8 懇談会開催(会場風景)
- P. 9 新役員一覧表
- P. 10 短信
- P. 16 コラム
- P. 17 新会員紹介

薬師池の「大賀ハス」

題字は西別府前町田税務署長

第1回通常総会{ 通算 31回 }開催される

風薫る5月22日、社団法人町田法人会の第1回通常総会が、150余名の会員と町田税務署長・町田市長・東京税理士会町田支部長、他多数の来賓を迎え、町田法人会杉浦青年部会長の司会にて開会、三橋会長の挨拶あって議事の審議に入った。

定款の定めるところにより三橋会長、議長席につき、齊藤常任理事より別紙議案書に基づいて議事の説明と井上茂留監事より監査状況報告がなされ、何れも万場一致にて承認可決された。引続いて、西別府町田税務署長殿、太下町田市長代理にて大貫助役殿、細野町田市商工会長殿、東京税理士会町田支部長代理にて早川副支部長殿の社団法人町田法人会に対しての今後の運営についてのご支援ご協力を賜わる感銘深いご祝辞とご挨拶をいただき、鈴木副会長の閉会の挨拶にて第1部の総会を終り、第2部の懇談会にうつる。



ご 挨拶

(社)町田法人会会長 三橋 忠正

本日、社団法人町田法人会第一回通常総会を開催致しました処、町田税務署の署長様始め幹部の方々及び、市長様、商工会長様、税理士会会長様には大変お忙しい処ご臨席賜わり又、会員の皆様方には、何かと御多忙の処御差繰り御出席頂きまして、本当に有難うございました。

町田税務署の一昨年の開署にともない、私共が、非常に長い懸案でございました社団化の準備もとのい、昨年8月社団化を達成いたしました。この社団法人として発足以来我々の上部団体である三多摩法人会連合会とか、或いは東京法人会連合会、全国法人会総連合こうゆうふうな上部団体とも、大変密接に、いろいろ連絡或いは協議を重ねて今日皆様の御手許にご配りした事業報告、大変多種多様な沢山の事業を、私共各地区会或は各委員会の役員の皆様が8ヶ月と云う、短期間ではございましたが、努力を重ねて参り、会員の皆様の御期待にそえたのではないかと、いささか自負致して居ります。この差し上げました55年度の事業報告にその内容を非常にくわしく各会との接渉或いは協議会、説明会とあらゆるものが記載されて居りますので、御覧頂ければ、役員さんの御努力の一端もお認め頂けるのではないかと思います。何と申しましてもこのように大変沢山の業積を残しましたのも町田税務署の署長様始め署の担当官の御指導によるところが、誠に大でございりますが税理士会の先生方或は他の協力団体の御後援とか又、役員の皆様の本当に献身的な御努力と会員さんの御協力と云うことでありまして、この席をお借り致しまして、心から厚く御礼申し上げます。只今からこれらの事につきましていろいろ御審議を賜わりますが、どうぞ皆様の格段の御協力により総会が無事終了出来ます様切にお願い申し上げ御挨拶と致します。



挨拶をする法人会会長 三橋忠正

祝 辞

町田税務署長 西 別 府 久

本日、ここに社団法人町田法人会の第1回の通常総会にお招きをいただきご挨拶の機会を得ましたことを大変光栄に存じております。

只今は新年度の事業活動の基本方針並びに事業計画等の議事について終始熱心にご審議を重ねられ、諸議案を満場一致でご承認されるとともに新役員を代表されまして三橋会長の力強い就任のご挨拶があり、組織の一層の拡大強化と、公益的な幅広い事業活動を活発に推進されることとなりましたことは、私ども税務行政に携わる者としましても誠に力強い限りであり、衷心より深く敬意を表する次第であります。

顧りみますと、当町田法人会は、幾多の困難をのりこえて昨年念願の社団化も達成され公益法人としての第一歩をふみ出されたところであります。

現在1,730社の会員を有するまでに成長され、経営及び税務等の研修会、説明会等数多く開催されて相互の研鑽に励まれ名実ともに兼ね備えた立派な法人会に成長されまして、企業経営の発展と適正な申告納税に尽力してこられましたことは私どもと致しましても誠に心強く慶びに堪えないところであります。

ところで昨今の我が国を取り巻く経済情勢はご高承のとおり内外ともに誠に厳しいものがあります。

このような状況下におきまして、今後財政の果す役割は極めて大きく、その基盤を支える租税の役割と税務行政に課せられた責任は益々高まって行くことが予想されるところであります。そこで私共といたしましては、申告納税制度の発展向上と納税者との相互信頼を更に深めるためには凡ゆる努力を傾注していく所存であります。

どうか今後とも税務行政に対する一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りに臨みまして、社団法人町田法人会の限りない発展と会員の皆様のご健勝並びに事業のご繁栄をお祈り致しまして私のご挨拶とさせていただきます。



町田税務署西別府署長のご挨拶

祝 辞

町田市長代理 大 貫 通 助 役

本日、大下市長が出席のうえ、ごあいさつを申し上げる予定でございましたが、あいにく関東市長会がございまして、そちらの理事ということで、出席しておりますので、助役の大貫から代わってごあいさつ申し上げる次第でございますのでご了承を賜りたいと存じます。

本日は、町田法人会が社団化されて第一回の総会ということであり、皆様方のご熱心なご討議のうちに、盛大に行われまして、まことにおめでとうございます。

また、このようなときに、この会に出席させていただき感謝にたえません。

平素より大先輩の皆様方のご指導ご協力のお陰をもちまして、町田市政も皆様方のご発展とともに、大きくなってまいりました。やがて30万の人口を擁する都市になろうとしています。

市が行う諸事業達成のための根幹であります市税収入も56年度は240億円という大きな数字を見込めるようになりました。これは一般会計において52%を占めるところでございます。

このように、その力がついてまいりましたのも、ひとえに本日、ご参列の皆様方の平素からのおほねおりの賜物であり、厚く感謝申し上げます次第であります。

今日の、日経新聞の文化欄に、元大阪市の土木局長の西村さんが書いておりますが、大阪の下水道事業が50年経過いたしまして、こゝにようやく98%の普及率になったと報じております。



町田市長代理 大貫 通助役ご挨拶

私ども、町田市の下水道事業について申し上げますと、町田市の全体会計645億円のうちで本年度の下水道事業の予算は61億9,677万円でございます、現在の普及人口も95,113人とあいなり、これは約31%の普及率でございます。

この事業の中で、いちばん大事なことは西村局長さんのおっしゃっているように大阪がそこまで行ったということも、地価の高騰の前の昭和40年代までに、下水処理現場用地の90%を確保したと述べられております。もちろん、その中には市民の皆様のご協力が何といたしても不可決であったこと、思います。

都市づくりの中では市民の皆様のご協力が第1であることは申し上げるまでもありませんが、その具体的な予法といたしましては用地の確保が最も大事なことであります。これは皆様方企

業のいろいろなお仕事の中でも、そういう問題があらうかと思ひます。町田の都市づくりの中で問題となります公共用地の取得ということは今後の町づくりの構想の中でも最も重要な問題であり、緊急を要するものであらうかと存じます。

いずれにいたしましても、その根幹となります収入については、皆様方のご理解、ご協力をお願いしなければなりません。そうしたことにより、はじめて良い町づくりができるのではなからうかと思ひております。

今後ともあいかわりませず、住みよい町づくりに向って、ご指導を重ねてお願い申し上げますとともに、皆様方法人会がさらに前進され、ご繁栄をなさいますことを心から祈念申し上げます、ご祝詞といたしたいと存じます。本当にありがとうございました。

祝 辞

町田市商工会長 細野 英雄

御指名を頂きましたので、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

本日は、町田法人会第1回総会を開催せられ、ご招待をいただきました光栄を、心から感謝申し上げます。

扱て、先程来、三橋会長、議長のもとに、昭和55年度事業報告並びに決算報告について、満場一致を もって承認せられ、又、昭和56年度事業計画及予算についても慎重審議の結果、全員賛成にて可決せられ、尚又役員改選についても、就任以来一年を経過したのみで各役員共、熱心に、お盡し いたゞいておるので全員留任をして頂きたいとの適切な発言あり、之又満場



細野町田商工会長のご挨拶

一致をもって可決され、終了されました事は、真に素晴らしき事でありまして心からお祝いを、申し上げる次第であります。

町田法人会は常に、会長を中心に、役職員が一体となって、会の運営に当られ、殊に、会員の増強と、経営指導には、特に、力を注がれ、会員の事業の繁栄を図ると共に、納税面に於ても、正しき申告と、納税の為に税法の指導に努めて居られる事は、会員の為にも、又、国家社

会の為にも大きな貢献でありまして、深く敬意を表するところであります。私が申し上げる迄もなく町田法人会は、あらゆる分野に重要な役割を持って居られますので、今後、更に、一層の御盡力を願いますと共に、町田法人会の益々のご発展を祈念して、お祝いのご挨拶といたします。

祝 辞

東京税理士会町田支部長 飯田 義 忠

第1回定期総会おめでとうございます。

町田税務署が新設されたのに伴いまして、社団法人町田法人会の設立総会が、盛大に開催されてから本日の第1回の定期総会まで、会員の皆様を始め、役員の方々は、非常な努力を重ねてこられました。本日こゝに会場一杯の会員参加により総会が開かれまして、役員改選を含む議題の審議が活発に、しかも、円満に終了されまして、次期への発展のステップが築かれたことを、お祝い申し上げます。

東法連のいろいろな会議でお聞きして、法人会の組織化、組織率がいつも大きな話題になっていることを承知しております。そして少しでも気をゆるめると、新設法人の増加等でパーセンテージが落ち会員増強運動が法人会のいつも変らざるテーマになっておるようでございます。



東京税理士会町田支部早川副支部長のご挨拶

法人会と税理士会は、小規模事業者の税務援助をはじめ会員増強につきましても、協力関係にあります。

東京税理士会町田支部も6月10日に第2回の総会を迎えますが、やっと念願の新しい事務所を町田税務署前のビル2階に設置することが出来ましたので、御報告申し上げますとともに、今後とも、それぞれの社会的な役割をいかしつゝ、協力を強めて行きたいと念願しております。

最後に、法人会の益々の発展を祈念してご挨拶といたします。

懇親会盛大に

開催される!!

第一回通常総会に引続き総会会場にて懇親会は尾辻青年部会副部会長の司会によりす、められ、町田税務署塚本副署長の乾杯をもって開催され旧交を暖めつ、なごやかな雰囲気の中で行なわれた。会は、前田顧問の中メをもってとどこおりなく終了した。



新 役 員 決 ま る

— 全 役 員 留 任 —

定款第14条第2項に基づき下記の役員が決定した。尚役員任期は定款にもとずき2ヶ年とする。

社団法人町田法人会役員名簿

(S56. 5. 22現在)

理事 (会 長)	三 橋 忠 正	理事	洪 谷 栄 二
同 (副 会 長)	石 井 儀 一	同	秋 元 馨
同 (")	鈴 木 英 正	同	新 井 量 実
同 (常任理事)	八木下 正 男	同	小 川 山 在 司
同 (")	井之上 哲 夫	同	松 山 田 直 九
同 (")	古 関 隆 幸	同	飯 山 田 直 敏
同 (")	加 藤 忠 男	同	小 山 田 克 巳
同 (")	萩生田 博	同	芝 田 泰 一
同 (")	矢 卷 勤 二	同	尾 辻 胖 雄
同 (")	村 田 清 繁	同	岩 村 英 義 德
同 (")	齐 藤 雄 志	同	藤 田 川 洋 郎
同 (")	岩 崎 義 男	同	石 川 健 次
同 (")	森 山 兼 光	同	大 川 林 忠 次
同 (")	森 橋 良 吉	同	若 林 鳴 重 一
同 (")	諸 橋 貞 雄	同	中 嶋 下 公 福
同 (")	中 島 信 男	同	木 井 上 輝 照
同 (")	杉 浦 中 耕 博	同	井 岩 井 上 正 義
同	田 上 恵 博	同	井 岩 井 上 正 義
同	井 上 恵 博	同	井 岩 井 上 正 義
同	松 村 邦 治	同	井 岩 井 上 正 義
		監事	
		同	
		同	

町田 輝 留
小山 2 廿 15 日

短 信

◎青年部会第二回総会 町田市民ホール会議室にて開かる

青年部会第二回総会は5月15日午後4時より町田市民ホール第4・5会議室に於て、来賓として町田税務署法人税部門大津第一統括官並びに芦渡指導官を迎え、親会より三橋会長、石井、鈴木両副会長、井上理事列席のもとに開催された。加藤部会監査役の進行によりすすめられ、三橋会長の挨拶並びに杉浦部会長の挨拶に引続き、部会規約第9条に基づき部会会長を議長に選出し議事に入った。第1号議案・昭和55年度事業報告承認に関する件。第2号議案・昭和55年度収支報告承認に関する件。第3号議案・昭和56年度事業計画(案)承認に関する件。第4号議案・昭和56年度収支予算(案)承認に関する件。以上4議案は全て満場一致で承認された。また第5号議案・役員改選に関する件は全役員留任を基本とし下に掲げる人選をもって承認された。なお、これにより本年度の青年部会は事業活動の主体性を堅持しつつ、承認されたスケジュールに沿ってひらかれた運営を基調とし各種の事業活動を推進することになった。議事終了後、来賓大津第一統括官より祝辞をいただきとどこおりなく総会が終了した。

☆ごあいさつ 青年部会長 杉浦信男

本日、社団法人町田法人会『青年部会』第二回総会の開催にあたり、ご来賓各位並びに親会役員各位様には大変ご多用中にも拘りませずご臨席を賜りまして感謝申し上げます。又部会員の皆様方には業務ご多忙のなか出席下さいまして有難うございます。

ご案内の通り、当青年部会は親会の多大なるご尽力をいただきまして、昨年4月、実に136名に及ぶ多数の青年経営者の結集をもって発足をいたしましたのでございます。

顧りみますと、昨年度は町田法人会の社団化改組という文字通り大事業をクリアーし、町田法人会30年の歩みに新たなる礎を築いた意義深い年でございます。

当部会も親会の要請に基づき社団化達成に対する一翼を担い、法人会活動の上で貴重な経験を体得しつつ親会の負託にいきさかでも応える事が出来たのであります。

しかしながら一方では一連の社団化推進作業の取組により期首計画の変更を余儀なくされ、為に部会独自の事業活動がおろそかになった点は否めない事実でございます。

夏期には町田市民ホールでのセミナー、秋には税を知る週間の行事として税務行政懇談会を開催したものの到底皆様方の期待に応え難い状況の中で、初年度の終了をみた事に対しはなはだ責任を痛感する次第であります。

さて、最近の経済情勢に眼をむけますと依然として混迷の度合いが深まり先行の景気動向極めて計り難い状況のもとにありまして、事業の環境にも多様な影がしのびよってきているといっても過言ではないでしょう。

このような内外ともに厳しい時代を迎え、健全な企業として耐え、発展を図っていく原動力はなんといっても経営者自身の資質を高める姿勢とたゆまぬ努力ではないでしょうか。

従いまして、当部会の活動の基軸を自らの研鑽の機会と部会員交流の場の確保に求めたいと思うのであります。

折から財政再建問題に呼応し税に対する関心が富に高まりをみせておりますが、税務の問題は正に事業活動の延長線上にある事だけは疑う余地がありません。

幸にして社団化二ヶ年目に入り親会においても組織機構の充実と定着化がなり地区会を初め

とするキメ細かい活動が開始されておりますが、当部会としても本格始動の年として新たなる気概をもって部会運営を期す所存でございます。

若き世代の有する柔軟な思考と斬新な発想そして新しい感覚を集い、部会活動を推進しようではありませんか。

ご来賓各位並びに親会役員各位様の一層のご理解、ご指導を切にお願い申し上げます。

なお、本日は第2部としてかねてより念願でございました文化講演会をTBSアナウンス室部長榎本勝起氏の絶大なるご協力を賜り、ここに実現されますことを深く感謝申し上げる次第でございます。

講師の榎本勝起氏には業務極めてご多忙の折にも拘りませず『青年部会第一回講演会』の記念すべき催しに快よく講師をお引き受け下さいまして厚くお礼申し上げます。

ご承知の方も多くと存じますが、氏はTBSアナウンス室の部長職におられる傍ら、自らも定時番組を担当され造形の深いしかもさわらかな語り口で聴取者を魅了している人気アナウンサーでもございます。

本日は“運命の出会い、その人々の生き方”をテーマとして講演をいただきますが、日常仕事に忙殺されているわたくしたち青年層に、心のオアシスと人間形成の糧ともいえる感銘を期待してやみません。どおかよろしくご清聴の程お願い申し上げます。

青年部会役員

部会長	杉浦信男	(株)中野屋	22-3556
副部会長	中里正一	都生工業(株)	92-0658
	尾辻 胖	(株)電巧舎	26-7771
	金子仙太郎	(株)金子商店	35-3309
	金子正雄	(有)金子洋品店	72-3045
	園部 昇	(有)そのべ商店	25-3166
	細野敏雄	(有)綿屋呉服店	29-5298
会計	斎藤 孝	(有)さいとう	22-3747
	加藤 誠一	(株)加藤石材店	23-0324
会計監査	三沢 健二	(有)ミサワゴルフセンター	91-0756
	青木 幸雄	(株)相武石油	73-7920
幹事	及川 征勇	(有)及川食品	22-2636
	矢巻 恭一	町田ガス(株)	91-1411
	若林 章	(有)若林工務店	91-1192
	高尾 伸	高尾建設(株)	25-1211
	渋谷 貞雄	(有)いちのや	22-2430
	斎藤 正	(有)斎藤楽器製作所	22-3348
	飯田 秀樹	(株)飯田屋本店	23-0711
	五十子 育雄	(有)五十子石油	23-4408
	宮沢 憲一	(有)宮沢商店	32-8038

幹 事	秋 元 裕	富士印刷(株)	4 2 - 3 3 2 1
	田 島 隆 一	(株)田島商店	2 2 - 3 3 2 7
	栗 原 秀 夫	清水屋製パン(有)	2 2 - 3 3 0 6
	細 野 利 行	(有)細言精米店	2 2 - 2 6 7 6
	三 橋 信 介	(株)宝永堂友の会	2 3 - 1 5 5 5
	鈴 木 攻 一	(株)鈴木楽器店	2 6 - 9 8 1 1
	柳 沢 秀 秋	(有)一 万 堂	2 2 - 2 4 8 7
	梶 屋 三 郎	(株)梶屋商店	2 2 - 3 1 5 1
	村 田 昭	(株)誠和商事	2 5 - 7 9 0 4
	田 木 稔	(株)アイコー	9 6 - 7 7 1 1
	大 沢 昭 彦	(株)町田青果	9 5 - 0 0 2 5
	藤 田 義 徳	(株)総合図書	3 5 - 5 0 6 9
	細 野 恭 敬	小野路石油(株)	3 5 - 2 0 4 8
	石 川 洋 一 郎	愛洋商事(株)	3 5 - 2 6 2 0
	中 里 囊 次	中里興産(株)	2 3 - 2 5 9 4



挨拶をする三橋会長

◎青年部会 第一回文化講演会 TBS・アナウンス室部長 榎本勝起氏

140名が出席、盛大裡に開催

青年部会第二回総会に引続き町田市民ホール会議室に於て青年部会主催第一回（公開）文化講演会を講師にTBSアナウンス室部長、榎本勝起氏を迎え『運命の出会い、その人々の生き方』をテーマとして140名の参加者を得て盛大に開催された。ラジオ放送でおなじみのあのさわやかな語り口で、徳川夢声、長島前巨人軍監督、芹沢八段、美空ひばり、デビ夫人など次々と……………それぞれの分野で果敢な人生を歩まれている先達者の生きざまや職業意識をさまざまの角度より披露され期待にたがわぬ深い感銘をうけた。最後にある日突然病魔に襲われ障害者をもつ家庭となってしまった一家族の話を通し障害者に対する社会の関心と暖い心を訴えた言葉でむすばれた講演会は正に充実の1時間40分……………万雷の拍手のなかで終了した。平素仕事に忙殺されている青年層に心のオアシスを求めて企画された第一回講演会は榎本勝起氏のご尽力により大きな成果を収めることができた。



講演中の榎本氏

◎定例理事会開催について

5月7日開催された理事会にての議決事項として今後定例理事会を開催することが決まりました。

開催日時は、毎月第3火曜日として時間は午前11時より昼食をはきんで午後1時半まで、招集の範囲は定款の定めるところにより、顧問、相談役、理事、監事とし、町田税務署幹部並びに東京税理士会町田支部の諸先生方のご臨席をいただき、町田税務署3階大会議室を会場として借用、第1回の定例会を6月16日に第2回の会合を7月21日に開催いたしました。

各回とも40数名のご出席のもと活発なご意見が交わされ極めて有意義に終了致しました。

法人会運営の基盤となるこの理事会が回を重ねるごとに内容も充実し町田法人会の発展に大いに期待できることでしょう。

◎三法連正・副会長、事務局長合同会議開催

すでにご承知のとおり、三多摩法人会連合会の事務担当会が、56年4月より(社)町田法人会に引継がれました。

三法連の通常総会が来る8月11日に午後2時より、武蔵野市三鷹に所在する(株)横河電機製作所に於いて開催されることに決まりましたのでその開催方法その他総会提出議案等についての審議のため、三多摩法人会連合会の正・副会長、事務局長合同会議が去る7月9日、午後3時より原町田3丁目の三見において開かれました。町田法人会からは、三橋会長、石井副会長、鈴木(英)、加藤三法連理事、と事務局2人の6人出席他会よりは武蔵野、東村山よりは会長専務理事、事務局長の各3名、立川、八王子、青梅、武蔵府中の各会よりは会長、事務局長の各2名づつ合計22名出席議案の審議をなし、終って、引続き懇談会を行ない5時過ぎ終了致しました。

◎会員増強委員の増強推進運動実施

7月1日より、会員増強委員の会員増強運動が実施されて居ります、会員の増強はご承知のように法人会運営を左右する極めて重要な行事の一つで、(社)東京法人会連合会にては、56年度の会員増強運動の月間を10月11月に定めこの間あらゆる方法と努力を傾注し実施する計画を樹立して居りますのでこれに呼応当法人会にても精力的に増強運動を展開する計画ですので委員会にては従来よりあらゆる会員増強運動の方法が実施されてきましたがそれ以上の成果を期待すべく各種方法を検討これによって現在増強運動を推進しその成果を今後の会員増強運動の手段として採用すべく目下増強運動実施中ですのでその成果は今後の運動に充分期待出来る事と思われれます。

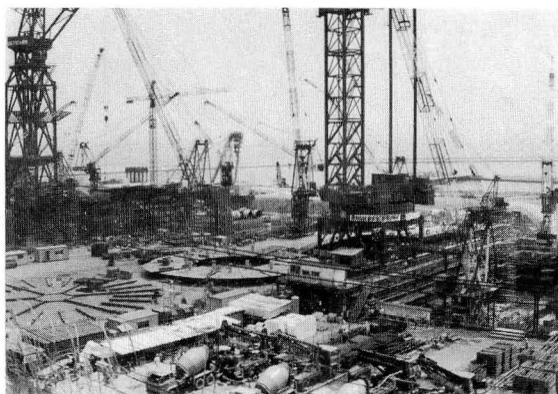
❖ 東京電力『福島原子力発電所』見学会 青年部会が実施 ❖

国民生活・経済活動の根幹をなす電力の問題についてはひとしく関心をもつところであります。30年代には水力発電から火力発電へと変転移行されてきたエネルギー源もこれからは増嵩化する電力需要と石油をとりまく幾多の要因から原子力発電がエネルギー問題の大きな決め手になると言われております。そこで青年部会では事業計画の中でエネルギー問題に関する認識を深めることを目的とした原子力発電所の見学会を立案、7月7日、8日に亘り東京電力(株)多

摩支店町田営業所のご協力をいただき同社福島原子力発電所の見学会を30名の参加者を得て実施いたしました。早朝6時定刻バスにて出発、一路東北自動車道より郡山経由福島県双葉郡双葉町、大熊町にまたがる福島第1原子力発電所に午後1時に到着。早速サービスホールにて原発についての懇切なる説明と講義を受けた後約2時間に亘り懇談会を開催、終始若者らしい活発な質疑と意見交換がなされた。次いで原子炉、発電機等の実物大の模型を見学し、100万坪に及ぶ広大な敷地に6基470万kW（東電全発電量の約15%）が運転されている構内を見学した。次に運転管理者を養成しているBWR・オペレータートレーニングセンターに回りシュミレーターによる研修の状況を見学し第1日目の行程を終了した。宿舎の相双母子休養ホーム「ふたば荘」では和気あいのなかで懇親会を開催した。第2日目は富岡町と楡葉町にまたがる福島第2原子力発電所を訪れ約50万坪の敷地に110万kW 4基の建設中の現場を見学、組立中の原子炉をはじめ建設工事中の現場一帯の風景は圧巻であった。2日目に亘りハードスケジュールではありましたがエネルギー源の多様化の必要性、原発推進の国際情勢、原発の仕組、安全性、問題点等多角的な研修と説明を受け原子力発電に対する認識を深められた成果は極めて大きいものがあります。百聞は一見に如かずとか申しますが、今回の見学会の成果を表現する最もふさわしい言葉ではないでしょうか。東京電力㈱をはじめ関係者に心より深謝する次第であります。



アーをうける
サービスホールにてレクチュ
福島第一原発



した現場風景
組立中の三号原子炉を中心と
福島第二原発

— コ ラ ム —

役所サービス
国民の評価 **税務署が一番親切**

——不親切の筆頭は国鉄——

「行政改革」が叫ばれるなかで、国民は行政の現状にどんな印象を持っているか——行政サービス評価調査の結果が行政管理庁の手でまとまった。これによると、よく窓口を訪れる役所のうちで、国民が一番「親切」と感じているのは税務署で、社会保険事務所がこれに続き、逆に最も「不親切」なのは国鉄、という評価だった。この調査結果は、各省庁の意見も聞いたうえで、今月末にも中曽根行管庁長官から閣議に報告される。

この評価調査は今年三月、全国で約三千ヵ所の役所の窓口を選んで、行管庁の職員が直接出向いてサービスぶりを調べた。「親切度」は、「重点評価機関」に指定した法務局、職業安定所など十種類の役所計五百七十七ヵ所を選び、そこを訪れた利用者六千百十二人からの聞き取り調査による。

それによると、「親切」と答えた利用者の多い順番は①税務署（回答者の69.3%）②社会保険事務所（63.1%）③職安（58.1%）④電報電話局（57.5%）⑤厚生省所管病院（48.5%）⑥郵便局（46.4%）⑦法務局（42.5%）⑧文部省所管病院（39.7%）⑨陸運事務所（33.5%）⑩国鉄（29.8%）だった。

税務署がトップにあげられたことについて、行管庁は「国民にはあまり歓迎されない税金を徴収するところなので、かえってサービスに気を使っている点が認められたのでは」。「不親切」トップの国鉄についてのコメントは「待合室が狭く、清潔でないことなどが不評を買った一因」。

一方、この聞き取り調査のほか、行政監察の結果や行管庁に寄せられている苦情の内容などを加味して、同庁が「総合判定」した結果は「税務署、郵便局は努力のあとがみえる。社会保険事務所や法務局などは努力が足りない」となっている。明確なランク付けは明らかにされていないが、こちらの評価は、中曽根長官が呼びかけた行政サービス改革運動への「協力度」が判断基準の中心に据えられている。

— 編 集 後 記 —

- 例年になく早目の梅雨明け、そして記録的な熱い夏。まずは署中お見舞申し上げます。
- 第3号は“盛夏号”として総会記事を中心に編集、広報委員会の正に汗の結晶です。乞叱責。
- 会報の題字筆者と申せば西別府署長殿、過日退官されました。前署長の前を記す筆の重きはひとしをです。新しい分野でのご活躍とご健勝を心より祈念申し上げます。
- 後任の西川新署長殿をはじめとする署関係の異動の記事は次回号にてお届け致します。皆様方の一尽のご指導ご協力を切望いたします。
(広報委員会)

新 会 員 の ご 紹 介

自 56. 3. 3
至 56. 6. 30

法 人 名	代 表 者 名	所 在 地	業 種	電 話
(株)マグトーン エレクトロニクスジャパン	柏木 紘宇	中町1-30-8 菅井町田ビル 3 F	電気器機設計製造販売	29-0051
(有) 渡 辺 商 店	渡辺 進	原町田4-12-2	建 設 資 材 運 搬	26-2544
フ タ バ 産 業 (株)	下山 勉	森野4-3-18	建 設 資 材	22-9339
ビッグナインワールド(株)	奈良 静子	南成瀬7-3-15	化粧品、健康食品	28-7525
(株) 塚 田	塚田 正美	原町田5-3-8	酒 類 ・ 食 料 品	25-2661
(有) 町 田 精 機	新野 清	成瀬5119-1	金 型 の 設 計	27-0941
(有) 孝 篤 ビ ル	五十子孝一	森野1-22-5	不 動 産 の 賃 貸	26-7041
(有) 三 栄 商 事	平山 英治	南成瀬7-19-8 12-501	不 動 産 の 売 買	26-3675
(有) 石 井 建 材	石井 輝雄	小山町2485-3	建 材 業	97-3045
(有) 英 和 工 房	諸角 英和	金森972-5	建 築 設 計 業	96-5340
(有) 柿 原 商 会	柿原トシ子	相原115-1	石 鹼 ・ 化 粧 品 販 売	71-2064
興 陽 商 事 (株)	桜井 利男	相原534	観 光 事 業 ・ 金 融	72-7545
(有) 宝 英 地 所	横溝 英一	相原3134	不 動 産 業	82-6621
(株)アートフロンテア	滝井 照彦	玉川学園8-24-43	建 築 及 金 物 工 事	25-9812
(有) 石 田 製 作 所	石田 茂雪	成瀬台2-23-23	自 動 車 内 装	27-2678
(有) 小 川 建 設 工 業	小川 佳己	上小山田町175-4	土 建 業	97-1683
ダイユー電子(有)	大友 武	忠生3-11-1	電 子 機 器	92-0788
(有) カ ガ ヤ キ	大島 輝久	能ヶ谷655-18	競 走 馬 の 育 成	34-2921
(有) 周 防 設 備	茂庭 秀昭	木曾2248-1	給 排 水 工 事	93-1250
(有) 高 ヶ 坂 フ ク イ	宮田 政雄	高ヶ坂1826-9	家 電 販 売	23-3013
東 陽 開 発 (株)	植 英夫	中町2-28-1	土 木 工 事	26-9570
サウンド、メディック(株)	森 讓	森野1-25-6	補 聴 器	25-5214
楠 本 工 業 (株)	楠本 明夫	つくし野1-10-2	機 械 組 立	95-3835

法 人 名	代 表 者 名	所 在 地	業 種	電 話
(有)美容室イクドール	加瀬 正	本町田4367-4	美 容 業	25-4875
福 岡 産 業 (株)	古本 邦夫	鶴間1856-2	電 線 販 売 加 工	95-5870
(株)経営プラン協会	沢野 広次	忠生4-5-3	販 売 及 美 容 業	93-1011
(株) 日 照	中村 昭弘	南成瀬1-4-12	日 用 雑 貨	28-5592
(有)情報処理技術研究所	石川 裕	中町2-7-2	計 算 シ ス テ ム	22-6390
(株) デ ン セ イ	太田 順徹	原町田2-29-1	パソコン、電話機器	26-7911
(有)千葉伸栄ハウス	千葉 隆行	相原町480-90	自 然 食 品 販 売 健康器具取扱、不動産	73-7558
勝倉スレート(有)	勝倉 成芳	成瀬1670-24	瓦 材	96-4706
(有)永利企画	永利 武人	高ヶ坂1792	舞台の企画、制作	28-1466
オ一電気(有)	佐藤 一	木曾町855-1 公社住宅36-502	防災設備、電気工事	91-6790
(有)興漢堂	御生園久義	旭町1-19-21 あかつき荘205	美 容 ・ 針 灸 治 療	28-7607
友和自動車(株)	老沼 好幸	本町田327	各種自動車・新車・ 中古車販売並に修理	22-2161
(有)笹山商会	笹山 義雄	本町田1101-13	化 成 品	22-8006
(有)寿産業	小堀 孟男	成瀬2126	ビルメンテナンス	(連絡先) 045- 961-6720
(有)サンエブリー 町界中町店	真木 完吾	原町田3-17-2	綜 合 食 品 ・ 雑 貨	25-9531
(有)永興電業社	勝永 武	森野5-10-26	鉄道関係信号装置設備	26-4453
(株)都市総合政策研究所	渡辺浩一郎	南大谷1329	都 市 計 画 の 調 査	23-3336
(有)伸光塗装	水橋 正男	金森1278	焼 付 塗 装 業	96-6174
(有)小出商店	小出 喜朗	南成瀬6-12-17	自 転 車 ・ バ イ ク	28-6901
(株)新日本サイエンス	鈴木 勝也	つくし野4-23-6	ソ フ ト ウ ェ ア	(営業所) 044- 854-2337
(株)大久保組	大久保正一	森野2-12-12	道 路 舗 装 工 事	22-0278